

景 観は目に映るものすべてであり、まちの姿そのもの。普段、何気なく暮らしている身近なまちにもいろいろな景観があります。景観を意識してまちを見つめなおしてみることが、景観まちづくりの第一歩。

このガイドブックを片手に、藤川のまちの景観を楽しみながら歩いてみましょう。

景観まちづくりガイドブックの

目的

このガイドブックは、藤川地区に住み、働き、学び、遊ぶ、それぞれの人々がまちの魅力や価値に気づき、まちの景観への理解を深め、それぞれの立場で具体的に景観まちづくりを進めていくためのヒント集でありアイデア集となることを目的としています。

このガイドブックがきっかけとなり、多くの人々が、藤川らしい景観を守り育むための「景観まちづくり」への第一歩を踏み出してもらいたいと願います。

景観まちづくりガイドブックの

構成

景観まちづくりについての理解を深め、実際に取り組むことは、まちの魅力を高めるとともに、愛着や誇りの持てるまちづくりへとつながります。しかし、景観は「見方・感じ方」が分らないと、なかなかその魅力や価値に気づかないものです。

第 1、2 章では、景観をつくりだす自然や歴史、暮らしについて「知る」ことから始めます。次に、第 3 章では、実際にまちを歩いて見ることで、景観を「理解」し、まちの良さや課題について考えます。良好な景観まちづくりは住み良いまちをつくるのと同じことです。最後に第 4 章では、読み解いた景観をもとに良好な景観を「つくる」ための工夫や考え方を紹介します。



景観まちづくりとは

あまり聞きなれない
「景観まちづくり」という言葉。
「景観」と「まちづくり」を
別々にしたらどうでしょうか？
わたしたちをとりまく
「景観」って何だろう？
「景観」がどんなものかを知ると、
「まちづくり」との
深い関係が見えてきます。

景観とは

地域を映す「鏡」

景観とは、目に見える眺めそのものです。
建物やまちなみ、道路、河川、木々の緑、人々のくらしなど、目にうつるものすべてが一体となって景観をかたちづいています。

景

目に見える
眺めそのもの

見ること。

+

観

見る人の
印象や価値観

感じること。

五感を通して

景観とは目に見える眺めそのものに、
土地の歴史や伝統、文化、都市活動や
日常生活から生じる雰囲気など、見る
人の印象や価値観が加わったものです。

光と影

味わい

におい

手ざわり

音